

# 燦さんらん 爛

「学ぶ鍛える高め合う」

～自ら学び共に生きる生徒の育成～

令和5年11月17日発行

<第31号>【文責:校長】



## 体験を通して多様な 立場や支援の仕方を理解 1年生の菜の花タイム

11月15日(水)に、1年生が「菜の花タイム」を実施しました。「菜の花タイム」とは、障がいや介助の体験学習であり、「ボッチャ交流会」や「車椅子バスケットボール体験」に続



社会福祉協議会の方のお話

く「心のバリアフリー学習」の一つとして行ったものです。小学校でも、福祉について学習する4年生の総合的な学習の時間の中で行っているようですが、本校では、大仙市社会福祉協議会等のご協力の下、1年生がこの体験学習を実施させていただいております。

この日は、社会福祉協議会の方や見守りボランティアの皆さん、テンドーヒルズの職員の方など10名がご来校くださいました。はじめに社会福祉協議会の方からバリアフリーについての説明があり、「私たちの身の回りには、車椅子用のスロープや車椅子使用者用駐車場など、様々なバリアフリーの施設や、周囲の人に理解を促すためのマークや標識があること」や「相手の立場で考えて行動することや、困っている人にできることはないか声をかけたり、お手伝いしたりする『心のバリアフリー』も大切である」といったことをお話いただきました。



車椅子体験

その後、グループに分かれて「車椅子体験」や「視覚障がい体験」、「高齢者体験」などをさせていただきました。様々な装具によって「動きにくさ」や「見えにくさ」などを実感することによって、日頃当たり前に生活していることでも人によっては困難なことがあることや、そういった人を支援するときには、相手の立場で考えることが大切であるといったことを身をもって学ぶことができました。



視覚障がい体験



高齢者体験



「読書の秋」といわれるこの季節、本校では11月8日(水)と10日(金)の2日間にわたり、「ミニビブリオバトル」を行いました。

## 読書の世界を広げよう ミニビブリオバトル

本校では2年目となる「ミニビブリオバトル」ですが、「バトラー」と呼ばれる発表者が、お薦めしたい本の魅力を決められた時間内で紹介し、ディスカッションの後、聞いていた人たちの投票で「一番読みたくなった本」(チャンプ本)を決める「知的書評合戦」ともいわれるものです。



タイマーで時間を見ながら発表や感想・質問を進めています

8日(水)は1,2年合同で、10日(金)は3年生が行いました。図書委員の司会で、3~4名ずつのグループが同時進行します。絵本や小説など幅広いジャンルの本が持ち寄られ、各バトラー自身が面白いと感じた本を友達にも是非読んでほしいと熱心にアピールする姿、それに答えるように真剣な表情で聞き、感想を述べたり、詳しい内容を質問したりする様子に、読書に興味をもっている西中生が多いと感心しました。特に2,3年生は、このバトルが2回目ということもあり、とても活発に行われていたと思います。



大仙市では、11月第1木曜日は「だいせん読書の日」に制定されており、市内の各図書館でも10月から11月末までイベントや展示を企画しているそうです。本校の図書室もかなり充実していますが、時には校外の図書館に足を運び、読書の楽しさにふれてみるのもいいかも知れませんね。

## 思春期は歯の健康にも注意!

# 歯みがき スキルアップ教室

11月13日(月)に、2年生が「歯のスキルアップ教室」を行いました。今回は、大仙保健所の歯科衛生士さんを講師としてお招きし、ご指導をいただきました。

講師の先生からは、「歯肉炎や歯周病、思春期の歯や口の衛生について留意すること」や「自分の生活習慣を振り返り、歯や口の健康への影響について考えること」、「今の自分の歯の状態を確認し、自分の歯並びに合った歯ブラシを選び、磨き方を工夫すること」などについて教えていただきました。



講師の歯科衛生士さん

歯みがき指導は小学校の時にも受けている生徒たちであり、今回のスキルアップ教室も給食後の歯みがきは済んでいる6時間目に行ったのですが、「染め出し」をやってみると、想像以上に歯垢が残っている生徒が多く、歯磨きの大切さを自覚しながら、改めて丁寧に磨き直しをしていました。



「染め出し」に挑戦

歯と口の健康は、全身の健康につながるのはもちろん、生活習慣病などにも影響があるといわれています。思春期の時期には、生活リズムが乱れる人も多く、歯や口の衛生に対する意識が薄れたり、ホルモンの影響で歯肉が腫れやすくなったりするなどの影響もあるそうです(「思春期性歯肉炎」といって、中高生の5人に1人がかかっているそうです)ので、今回の学習をきっかけに、改めて歯や口の健康への意識を高めてほしいと思います。



鏡を見ながら磨き直し

11月14日(火)、南教育事務所仙北出張所のT指導主事と、大仙市教育委員会事務局のI指導主事をお迎えして、社会科の指導主事訪問を行いました。

## 指導主事計画訪問(社会)



先生もグループに加わって助言

このお二人の他にも本校の職員や他校の先生方など多数が見守る中、今回は3年生が「地方自治と私たち」という単元で、「大仙市民の幸福度をちょっとアップさせるために、私たちはどんなことができるのだろうか」という学習課題の授業を見ていただきました。市の広報誌「だいせん日和」から市民のニーズや市政への満足度を読み取り、そこから導き出した大仙市の「強み」や「弱み」から、自分たちができることを考えていくという学習です。各班が決めたコンセプトに基づいたアイデアを出し合い、それを「ワールドカフェ方式」で他のグループと共有することで、さらにアイデアを広げたりつなげたりすることができていました。



授業研究会では、「自分の考えを進んで伝えたり、友達の発表をしっかりと顔を向けて聴いたりする姿から、安心・安全な風土の醸成がなされていると感じた」「生徒がこの課題を『自分事』として捉えられるような様々な手立が見られた」といったご感想をいただきました。お二人のご指導には、全ての教科に通じるものがたくさんありましたので、これからも生徒たちが主体的に学びに向かっていけるよう努めていきたいと思ひます。



11月6日(月)  
体づくり(大縄跳び)



11月10日(金)  
週末集会



11月16日(木)  
体づくり  
(フォークダンス)